学校番号	３０４

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ　東京書籍						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「書くこと」「観ること」「感じること」を大切にして、１年生で学んだ知識や習得した技法を生かし、更に発展した技術や表現方法を学ぶ。
・学習の到達度は、提出作品や授業で配布するワークシート等で評価する。
・自己の感性を磨き、表現する喜びを味わってほしい。それが生涯にわたって豊かな心を育み生きていく力となればと思う。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4

6 7 8 9	漢字の書	1、 楷書 臨書と鑑賞 2、 行書 臨書と鑑賞 3、 草書 臨書と鑑賞 4、 隷書 臨書と鑑賞 5、 篆書 臨書と鑑賞	○	○	○	○	a：書道Ⅰでの各書体の学習を踏まえてより個性的で多様な表現を理解し、いろいろな表現技法を習得できるよう主体性を持って意欲的に取り組んでいる 各書体についての特徴について理解し、興味・関心を深めている。 b：多様な各書体の特徴を理解し、美や、美を構成する背景を感受しながら、感性を豊かにしようとしている。 創造性豊かに表現の工夫をしている。 c：各書体の様々な表現方法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d：各書体の美を感じ取っている。 各書体の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解し、書と文字と文化について深く考えている。	提出作品 ポートフォリオ
10	刻字	漢字 2～4 文字を彫る	○	○	○	○	a：刻字の技法を学び、基礎・基本の刀法や表現方法を主体的に身に付けようとしている。 立体書としての意の表現に興味関心を深めている。 b：刻字の表現分野を理解し、美や、美を構成する背景を感受しながら感性を豊かにしている。 個性豊かな表現の工夫をしている。 c：刻字の表現をするための刀法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d：刻字の造形美や刻刀が奏でる立体美を感じ取っている。	提出作品

11 12	仮名の書	連綿 平仮名と変体仮名 作品構成 寸松庵色紙の臨書	○	○	○	○	a:書道Ⅰの学習を踏まえ、いろいろな仮名の表現を理解して、多様な表現技法を習得し、自己表現に積極的に活用発展できるよう関心を示すとともに主体性を持って意欲的に取り組んでいる。 b:それぞれの技法における美を感受し、自己の表現に工夫して用いている。 c:仮名の様々な表現方法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:仮名の美の変遷を理解し、時代背景などを考えながら鑑賞している。 それぞれの美やよさを感じ取っている。	提出作品 ポートフォリオ
1 2		仮名の創作	○	○	○	○	a:学習してきた仮名古典を背景に、仮名作品の制作に意欲的・積極的に取り組んでいる。 b:様々な仮名古典の特徴を理解し、美や、美を構成する背景を感受しながら感性を磨き、創造性豊かな表現の工夫をしている。 c:歴史的にも多種多様な美を持つ仮名古典の表現技法身に付けている。 自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行っている。 d:自己作品、他者作品を鑑賞し、それぞれの表現方法を捉えている。 現代の仮名の書の作品を鑑賞し、それぞれのよさを話し合い感じ取っている。	提出作品 ポートフォリオ 創作記録

※　表中の観点について　a: 書への関心・意欲・態度　b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。